

白内障手術

Multifocal IOL

[多焦点眼内レンズ]



これからの人生をより快適に





見え方は 人生とともに進化し 次のステージへ

白内障、老眼は誰にでも訪れる自然な変化です。

多焦点眼内レンズ(Multifocal IOL)は、
快適さを大切にした選択肢の一つです。

これからの暮らしをみつめなおす

きっかけになればと考えています。

多焦点眼内レンズと、日常の見え方

多焦点眼内レンズは、白内障手術の際に挿入する眼内レンズの一種で、日常生活で使う複数の距離を想定しています。

遠くから手元までの見え方をバランス良く整え、視線の切り替えを、より自然に行えるよう設計されています。

日常での心地よさを目指して見え方を考える。
多焦点眼内レンズは、そうした発想から生まれました。



単焦点レンズ イメージ



多焦点レンズ イメージ

Multifocal IOL FOCAL LENGTH

多焦点眼内レンズの焦点距離

遠方
Far Vision



日常生活の中で、
視線はさまざまな距離を
行き来しています。
多焦点眼内レンズは、
そうした日々の過ごし方を意識して
設計されています。

近方
Near Vision



中間
Intermediate Vision



名古屋アイクリニックの白内障手術

当院では、若い頃から現在のライフスタイル、大切にされていることを丁寧に伺いながら、一人ひとりに合った選択を一緒に考えます。

眼内レンズにはさまざまな種類があり、それぞれに特徴があります。

目の状態やご希望をもとに、白内障手術が原則一度きりの手術であることを踏まえ、将来を見据えた視点で提案します。

その考え方は、開院以来積み重ねてきた豊富な症例数と経験に基づくものです。





また、選択に迷われる場合には、片眼の手術後の状態を確認したうえで、もう片眼のレンズを検討する「2ステップ法」を選択することも可能です。

選択肢が多い多焦点眼内レンズだからこそ、患者様一人ひとりにとっての最適解を共に考え、納得して選んでいただくことを大切にしています。

PATIENT VOICE

それぞれの立場で考えた選択のカタチ



MEDICAL PROFESSIONALS

医療専門職の方

医療に携わる立場として、白内障手術においては、技術だけでなく、実績や判断の積み重ねが何より重要だと考えています。

検査結果や症例をもとに、どのような考え方で選択が行われているのかを具体的に説明してもらえたことで、納得したうえで判断することができました。

そのうえで、眼鏡のかけ替えや小さな不便に意識を向ける時間が減り、限られた時間を本来向き合いたいことに使えるようになったと感じています。



MANAGERS

経営職の方

仕事柄、日常の中でさまざまな距離を見る必要があり、悩みながらの選択になりました。

一方的に勧められるのではなく、自分の生活や価値観に寄り添いながら、一緒に考えてもらえたことが印象に残っています。

現在は、仕事でも私生活でも見え方を意識することが少なくなり、日々を快適に過ごせていると感じます。

手術を受ける前に、 知っていただきたいこと

多焦点眼内レンズは、日常生活の快適さを大切にしたい選択肢の一つです。

一方で、全ての方に同じ見え方が合うわけではなく、
目の状態やライフスタイルによっては、多焦点眼内レンズが適さない場合もあります。

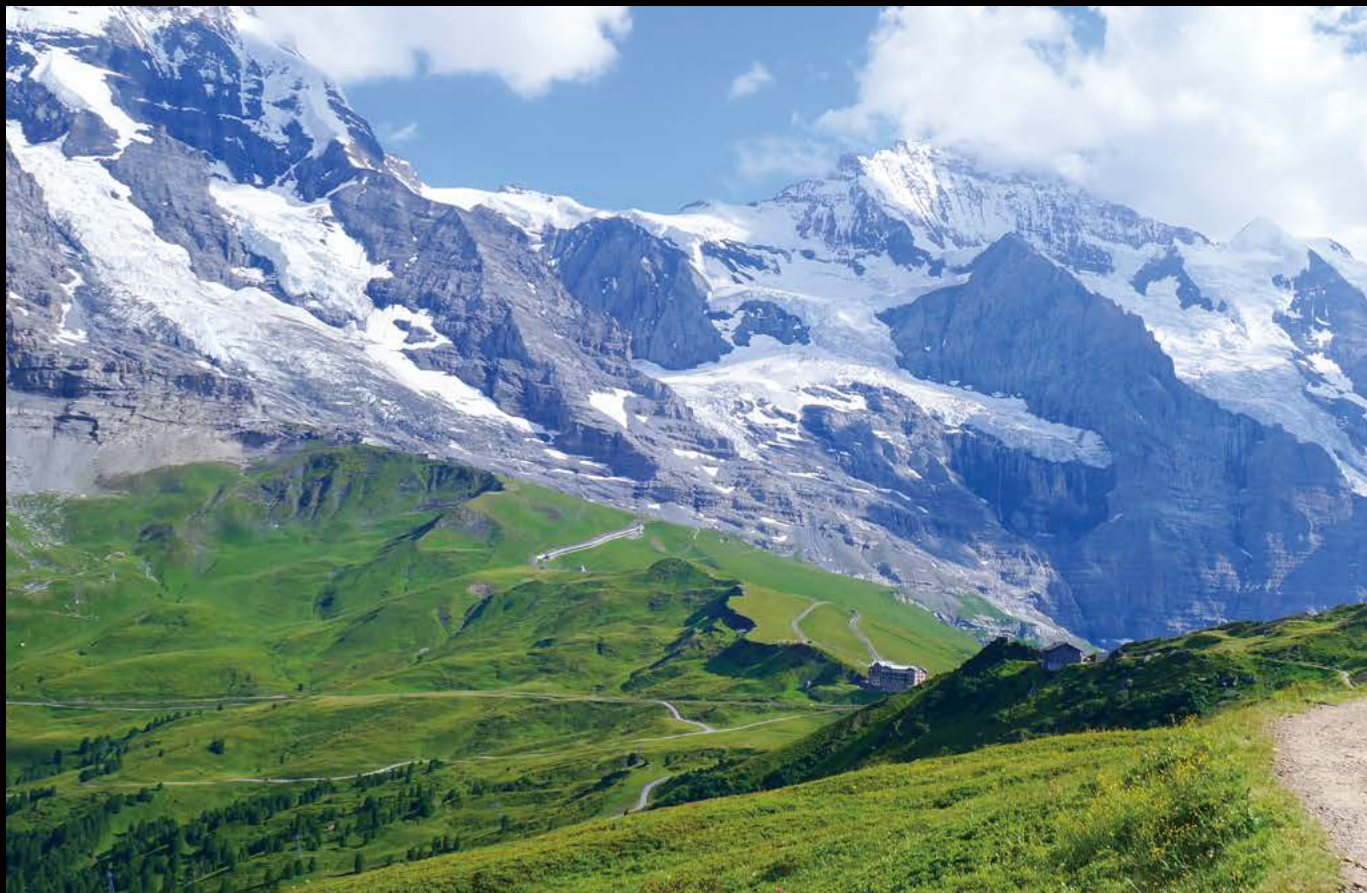
また、見え方には個人差があり、夜間の光のにじみなど、
気になる症状を感じる場合があります。





だからこそ当院では、多焦点眼内レンズを誰にでもおすすめするのではなく、ご希望をふまえたうえで、適していると判断した方にご案内しています。

医師をはじめ、スタッフ一同が連携しながら、手術前から術後まで、快適な生活に向けたサポートを行っています。



Imagine Clear Vision, Imagine a Clear Future

名古屋アイクリニック

nagoya eye clinic

名古屋市熱田区波寄町24-14 COLLECT MARK 金山2F



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	◎	—
14:00～17:00	○	○	○	○	○	—	—

◎土曜日は8:30～14:00 休診日：日曜日 ※祝日や年末年始などはお問い合わせください。

アクセス JR・名鉄・地下鉄：金山総合駅 東口より徒歩1分

